

♪ サポランド News ♪

2021.9月号
VOL.18

【発行】 特定非営利活動法人 在宅支援センターサポートランド二十一
〒819-0373 福岡市西区田尻 2707-3 TEL・FAX (092) -807-4477

在宅支援センター
ひだまり

〒814-0162
福岡市早良区星の原団地32-104
TEL092-874-5003
FAX 092-874-5009
Email hidamari33@sand.ocn.ne.jp

障がい福祉サービス事業所
わくわくランド

〒819-0383
福岡市西区周船寺 3-3-1
TEL092-834-9963
FAX092-834-9964
Email wakulandworks@yahoo.co.jp

今津特別支援学校 放課後等支援事業
ほのぼのルーム

〒819-0165
福岡市西区今津 54-13(今津特別支援学校内)
TEL092-806-8182
FAX092-806-8182
Email honobono@dune.ocn.ne.jp

各事業所の活動は <https://www.support-land21.com> で紹介しています。

ニュース・ブログ等更新していますので、毎日ワンクリックのご支援をお願いします☆

★わくわくランド★



今年の夏のレクリエーションは駐車場でプールを使って水遊びをしたり、縁日ではゲームや食べ物が豪華であったりと、メンバーさんの笑顔が花火のように打ちあがっていました。大雨が続く日もありましたが、夏を感じ、楽しんで頂けたのではないかと思います。

新型コロナウイルスに新たにミュー株と新たなデルタ株が発覚しました。今のところ感染力や重度化などはっきりとした症状は不明のようです。どんな変異種なのか未知数ですが、今までのように手洗い・うがい・消毒・換気・・・感染予防を徹底し、不要不急の外出を控えるようお願い致します。

障がい福祉サービス事業所 わくわくランド
施設長 小林 潤也

日頃よりわくわくランドへのご支援をありがとうございます。

9月の予定

- 4日(土) もぐらたたきゲーム
- 11日(土) わくリンピック(運動会)
- 18日(土) プレスレット作り
- 20日(月) 敬老の日(わくわく休所)
- 22日(水) 早帰り(～14:00)
- 23日(木) 秋分の日(わくわく休所)
- 25日(土) 壁飾り作り



10月の予定

- 2日(土) だるま落とし
- 9日(土) カーリング
- 16日(土) ストーンペイント
- 23日(土) ストラックアウト
- 26日(水) 早帰り(～14:00)
- 30日(土) 壁飾り作り





縁日



21日の土曜日は、縁日をテーマに、射的やスーパーボールすくいを行いました！お昼ご飯は、お祭りらしく、焼きおにぎりとアメリカンドッグ、たこ焼きをペロッと食べて、デザートにアイスも食べました♡大満足でした★



今月のスタッフ紹介

名前：小金丸光暉
 誕生日：9月13日
 好きなこと：料理、工作
 好きな色：緑
 一言：家、買いました🏠



☆多わくわくランド紹介動画☆☺

<https://youtu.be/WmBhcyF0Pil> で検索。もしくは右の QR コードへ！



日々の支援お疲れ様です。今月から事業所内の体制も変わり、心機一転スタッフ一同、みんなで力を合わせ、利用者さんに安心安全な支援が提供できるよう、ヘルパーさん方が働きやすい環境をつくっていきけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご協力宜しくお願い致します。新管理者 吉村麻衣子



ヘルパーミーティング

訪問介護に行く人必見！注意点まとめ

訪問介護員として働くかたは、利用者様の自宅に出向いて介護を行ったり、利用者様ができない家事などの援助を行います。施設と自宅とでは勝手が違い、訪問介護員ならではの注意点がいくつかあります。

ここでは、訪問介護に行く人が注意しておきたいポイントについてご紹介します。



注意点 1 転倒に注意

施設は居室、ホール、トイレなど、どこに行っても段差はなく、足腰の不自由なかたでも生活しやすい環境が整っています。しかし、自宅はそうではありません。玄関から一歩足を踏み入れるにも段差がある場合が多いです。また、敷居や部屋の入り口には低い段差があったり、古い日本家屋では土間のある家も残っています。

そのため、足の力が弱くなっているかたは、いくら慣れた環境といっても転倒への不安があります。大きく足を持ち上げるほどの段差は、高齢者自身が意識して注意することも多いのですが、案外敷居やカーペットなどの見えにくい段差でつまずいたりすることがあります。

訪問介護員は一人で自宅を訪問することが多いですから、転倒した時の対応を心得ておく必要はありますが、事故を未然に防げるように、移動時の介助は低い段差も意識して注意しましょう。

注意点 2 食事中は誤嚥に注意

訪問介護の内容には、食事介助が含まれることもあります。食事介助の際には、施設での介護と同様に、誤嚥への注意が必要です。訪問介護は決められた時間で提供されますから、時間内に終わらせようとするあまり、利用者様のペースよりも介助側のペースで介助していませんか？

きちんと咀嚼せずに急いで飲み込もうとしたり、まだ口の中に食べ物が残っている状態で次の一口を介助しようとするのは非常に危険です。食べ物が食道ではなく気管に入り込んでしまうと、窒息や肺炎のリスクが高まります。

どんなに効率的に仕事をして、サービス提供時間内に全ての業務が終わらない場合は、責任者までご相談ください。

訪問介護に限った話ではないけど…自分の体を守ろう

介護の仕事をしていると、腰を痛める確率が高くなりがちです。利用者様の体を抱えて介助したり、ベッド上でオムツを変えるなどがむ動作が増えると、腰に負担がかかります。

訪問介護員は自宅で介護をしますから、環境や設備は施設とは異なります。十分なスペースがない場所で介助したり、便利な道具がない場合もあります。

低い位置から抱えて持ち上げようとする、腰に負担がかかります。できるだけ腰を守りながら介助するために、ベッド上での介護の際は高さを調節してかがまないようにしたり、力任せに介助しないようにしたり、体に負担がかからない介助方法を学ぶなどの工夫が必要です。

利用者様の生活を守りながら、自分自身の体も心の守っていきけるよう、自分自身のケアも大切にしていきたいですね。



ほのぼのルーム



長かった夏休みも、福岡県のコロナ警報や緊急事態宣言等で、思ったように出かけられず、猛暑を避けての室内遊びやプールの活動を楽しみました。みんなの元気な声がほのぼのルームに響き、とても賑やかに過ごすことができました。ご家庭のご協力に感謝申し上げます。夏祭りの雰囲気を楽しめるように、金魚すくいやかき氷作りも行いました。みんなの笑顔が弾けて、とてもいい時間を過ごすことができました。

さて、今月は「摂食」について、少しふり返ってみたいと思います。麻痺等により、唇や舌の動きが鈍い場合と、小さな刺激にも過敏に反応してしまう場合と、それが混合している場合があります。児童生徒の皆さんには、それぞれに課題があります。食物の形態や、スプーン等の食器・道具にも工夫が必要です。特に、ほのぼのルームで大切にしているのは姿勢(ポジショニング)です。顎が上がってしまうと、誤嚥が発生しやすいので、座位保持椅子の角度を調整して、最も楽に安全に食事ができるように、一人一人に合わせ気をつけて行っています。

二学期が始まり、一年の中でも一番充実した期間となります。温かい見守りと声かけを行いながら、学校生活がより楽しく過ごせるように皆で頑張っていきましょう。

放課後等支援事業 ほのぼのルーム

管理責任者 山口孝太

活動のテーマとしては、一人一人の安全の確保を基本に、さらに「心地良さ」を主題として取り組んでいます。光・風・音楽・笑顔・温かい声かけなどを通して、楽しく安心して過ごせる環境の調整を大切にしています。

【活動紹介】



ガリガリガリ…かき氷をつくっています。シロップは何味にする？



金魚すくい… 全集中！



猛暑の中、プールは最高！



うはっ！ めっちゃ楽しい。



黄色の金魚と赤い金魚を狙い中。